



あかまつ 那須大学ニュース

Vol.11 平成15年5月31日(土)発行 発行/那須大学 広報委員会

「第5期生を迎える新たな一步踏み出す」

去る4月6日(日)、128名の新入学生を迎えて、第5回入学式がおこなわれた。須賀英之新学長の挨拶の後、御来賓の齊藤真男黒磯市助役の御祝辞、小川直樹君の新入生誓いのことなどが続き、厳粛な中にも温かい雰囲気で式典は終了した。これにより、本学は完成年度後の新たな年の第一歩を歩み始めた。

「入学に寄せて」那須大学長 須賀 英之

新入生の皆さんには新しい生活環境にも慣れ、落ち着いて大学の専門的な勉学に取り組んでいらっしゃることと思います。

皆さんは、それぞれの思いを胸に大学という最高学府に身を預けたわけですが、大学は積極的に行動を起こせば大変有意な空間であり、逆に、流されるままに生活を送ればこれほど無味乾燥なところはありません。そのいずれに身を委ねるかは、皆さんのが好奇心の高揚と自己見にかける情熱にかかっています。

本学の教育理念は、地域社会と共生し豊かな都市生活の実現に貢献する人間形成にあります。人間としていかに生きるかを真剣にみつめ、自らの問題を理解・判断し、これに基づいて責任をもって行動できることが課題です。そのためには、問題意識をもって自分が何を学び、将来の具体的な目標をどこにおくのかを大いに議論を交わし明確にして、主体的に大学生活を送らねばなりません。

本学では「全人教育」という建学の精神の下に、学生諸君ひとり一人が持て生まれた優れた個性・特性そして感性・能力を最大限伸ばせるよう様々な配慮がなされ、教職員一同、皆さんを全面的に応援しています。

本学は日本初の都市経済学部を有する「社会に開かれた大学」として社会人や留学生に門戸を開いていますから、異なる経験や文化にも自然にふれあいながら、眞の国際人を目指してほしいと思います。第一期生の就職内定率は98%の高い実績を挙げ、慶應大、宇都宮大等の大学院にも大勢進学しました。こうした先輩につづいて大いに活躍していただきたいと思います。

20世紀の価値基準が崩壊して新たな枠組みが模索されている現在、その激しい変化や時代のニーズに対応できる人材の出現が待ちのぞまれています。どうか皆さん、都市経済学を修めながら、キャンパスライフを楽しみつつ、「掛け替えのない自分」を見出し創造されることを期待しています。

那須大学へようこそ!

憧れのキャンパスライフ、広がる将来の夢。今年も新しい学生の入学です。都市のリーダーの育成をめざしますます発展する那須大学。そんな那須大学へ入学した新入生の喜びの声や、新入生へのお祝いの言葉、アドバイスなどをレポートします。



Voice 決意新たに 新入生の声

☆ 大学生活が始まるのを楽しみにしています。都市経済学部の学生として、地元の岡本町を良くしていくような勉強をしたいと考えています。(永見哲也・栃木県出身)



☆ 大学生となりましたが、これからどんな四年間になるか想像もできません。悔いのない充実した学生生活を送れたらと思っています。(磯久太一・栃木県出身)

☆ 留学生と友人になり、眞の国際交流をしてみたいと思います。韓国語や中国語も勉強してみようと考えています。(氏家春奈・栃木県出身)

☆ 卓球サークルをつくり、卓球を通して日本人学生や地域のみなさんと国際交流活動ができるかと思っています。(曹令/そりい・中国上海出身)

Voice 喜びの声 新入生のご家族の声

☆ 大学生活は何度も送ることができないので、有意義に過ごしてもらいたい。家は自営ですが、都市経済学を学んで本人が希望する公務員に将来なってくれればと念じています。(関戸亮太君のお父様・福島県出身)



☆ 息子の希望にマッチした大学であると感じている。良い勉学の場を得たので、今後の成長を楽しみにしています。(新井元之介君のお母様・栃木県出身)

☆ 一番末子の入学式なので、祖母、妻と三人で出席しました。オープンキャンパスにも参加し、近隣の大学、環境の良さということで本人の希望で決めました。自分のペースをつかみ、進路も切り拓いていくつもあらわせます。

(4年生 千葉洋平)

☆ 1年生の皆さんには、まず卒業までの目標を持つてもらいたい。そして、その目標に向けての計画を立て、実行してほしい。(4年生 室田知則)

☆ 留学生との交流を通じて社会の異文化理解を深めることができます。那須大学は国際交流の絶好の場です。(3年生 高田幸正)

☆ 入学式は、自分自身のときもそうでしたが、感動を覚えます。皆さんは期待と不安とが入り混じって参列したものと思います。新入生の真剣な眼差しが印象的でした。事務職として満足いただける対応を心掛けたいと念じています。(生田佳子・本学総務部)

☆ 大変スムーズな流れで入学式をおこなうことができ、良かったと思います。今後の学業の成果を期待します。(上野勝章・本学総務部)

(上野勝章・本学総務部)

OPEN CAMPUS (オープンキャンパス実施予定)

第1回 7/6(日) 第2回 8/3(日) 第3回 9/20(土) ■時間 10:00~14:00

【内容】個別入試相談、ミニ講義、先輩と語ろう、学内施設見学、等。
【その他】バイキング形式の昼食付、全員に記念品プレゼント、那須塩原からの無料送迎バス、等。



那須大学 入試委員会からのおしらせ

OPEN CAMPUS

<オープンキャンパス実施予定>

那須大学生を1日体験しよう!

【内 容】個別入試相談、ミニ講義、先輩と語ろう、学内施設見学、等。

【その他の】バイキング形式の昼食付、全員に記念品プレゼント、那須塩原からの無料送迎バス、等。



那須大学で学ぼう

入試委員会委員長
駒場 利男助教授

那須大学は都市のリーダーを育てます。今年度から、時代の変化や社会のニーズに対応して講義科目を大幅に増やすとともに、2つのコース(都市環境デザイン・都市情報ビジネス)を設け、学習領域や進路に沿って学べるように科目を配置しました。また、半期毎に単位を取得できるセメスター制を導入し、弾力的な履修が可能になっています。

また、那須大学は意欲ある人を応援します。入学試験の成績優秀者を須賀スカラーシップの特待生とし、4年間の授業料を全額もしくは半額免除します。特待生になると、4年間の学納金は全額免除が120万円、半額免除が250万円になります。加えて、在学生奨学制度もあります。

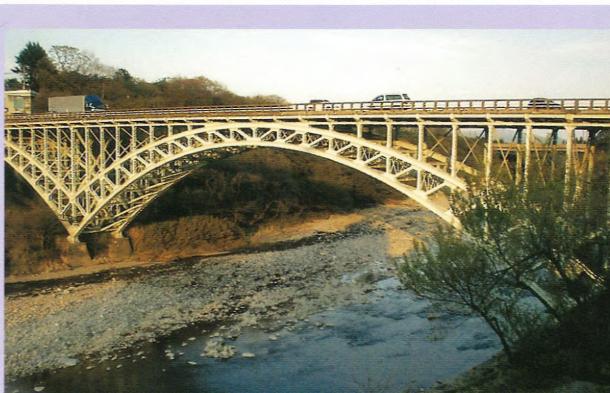


那須大学
入試委員会からのおしらせ



平成16年度入試日程

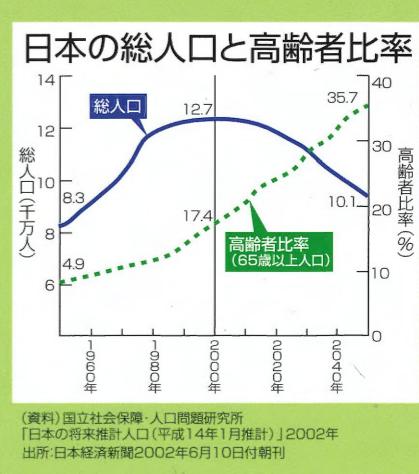
| 入試区分 | 出願期間 | 試験日 | 合格発表 | 入学手続期間 | 入試科目 | 募集人数 |
|--------------|------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|--|--|------|
| AO入試 | 平成15年7/1(火)~ 平成16年3/26(金) | 随時 | | | メール、入試相談、面接、出願書類 合格通知発送の日から2週間 から総合判定 | 5 |
| 公募推薦入試 | 平成15年10/31(金) ~11/12(水) | 11/15(土) 11/20(木) 12/5(金) | 11/21(金) 12/25(木) 12/5(金) | 英語・国語・小論文より1科目選択 面接 | 55 | |
| 特待生入試 | 平成15年11/25(火) ~12/18(木) | 12/21(日) 12/24(水) | 12/25(木) 1/15(木) | 英語(必須) 国語・数学・世界史B・日本史B ・政治経済・簿記より1科目選択 | 20 | |
| 一般入試Ⅰ期 | 平成16年1/5(月) ~1/27(火) | 1/30(金) | 2/6(金) | 2/7(土) ~2/20(金) | 英語(必須) 国語・数学・世界史B・日本史B ・政治経済・簿記より1科目選択 | 25 |
| センター試験利用入試Ⅰ期 | 平成16年1/5(月) ~1/27(火) | 書類のみ | 2/6(金) | 2/7(土) ~2/20(金) | 外国語1科目(必須) 国語・地歴・公民・数学・理科より1科目選択 | 10 |
| 一般入試Ⅱ期 | 平成16年2/2(月) ~2/18(水) | 2/21(土) | 2/24(火) | 2/25(水) ~3/8(月) | 英語・国語より1科目選択 面接 | 5 |
| 一般入試Ⅲ期 | 平成16年3/1(月) ~3/16(火) | 3/21(日) | 3/23(火) | 3/24(水) ~3/31(水) | 英語・国語・小論文より1科目選択 面接 | 10 |
| センター試験利用入試Ⅱ期 | 平成16年3/1(月) ~3/24(水) | 書類のみ | 3/27(土) | 3/29(月) ~3/31(水) | 外国語1科目(必須) 国語・地歴・公民・数学・理科より1科目選択 | 10 |
| 社会人特別入試Ⅰ期 | 平成15年11/25(火) ~12/18(木) | 12/21(日) | 12/24(水) | 12/25(木) 1/15(木) | 小論文 面接 | 10 |
| 社会人特別入試Ⅱ期 | 平成16年2/2(月) ~2/18(水) | 2/21(土) | 2/24(火) | 2/25(水) ~3/8(月) | 小論文 面接 | 20 |
| 外国人留学生特別入試 | 平成16年1/5(月) ~1/22(木) | 1/30(金) | 2/6(金) | 2/7(土) ~2/20(金) | 日本語試験 面接 | 30 |



地域の魅力
晩翠橋

那須大学のある黒磯市と隣町那須町の境を流れる那珂川にかかるアーチ型をした美しい橋である(黒磯駅から約900メートルの距離)。橋を通して臨む那須連山等周囲の風景と良く調和し、古くから県下有数の名橋といわれる。橋が最初に架けられたのは明治17年(1884)であり、この間流失、老化などで何度か架替え・改修がおこなわれた。現在は5代目であり、昭和7年(1932)に完成し、長さ127.8m、幅8.7m、高さ21mを誇る。

高いところが好きな学生曰く、「いつかここでパンジー・ジャンプがしたい」との事。橋の名前の晩翠は、土井晩翠とは無関係だそうだ。晩翠の語は「冬になても木々の緑が変わらない」という意味で、昔の詩の中にも用いられている。ちょうど、那珂川の崖に松が生えており、その緑をモチーフにしたもので、昔の詩に詳しい人がネーミングしたものとみられている。(黒磯市資料により広報委員会が作成)



「高齢化社会と都市生活」

那須大学ではこんな科目を学ぶ⑪



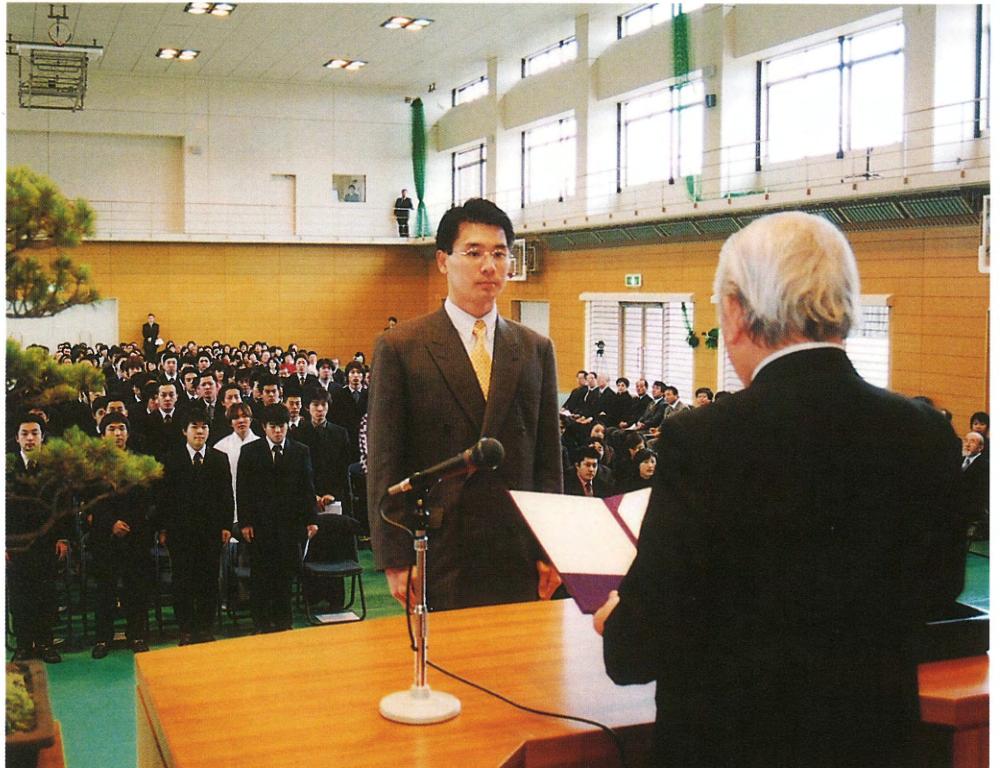
赤澤 とし子 講師

日本は、今世紀、超高齢・人口減少社会を迎えます。21世紀は「高齢者の世纪」と言われています。こうした社会の到来には、既に四半世紀以上続いている少子化が大きく影響しています。高齢化と人口減少は、実に日本の経済社会のさまざまな側面に影響を及ぼします。年齢構造の変化は需要構造の変化をもたらします。少子化は教育産業に打撃を与えていますし、高齢化は医療・介護に対するニーズを高めるでしょう。生産年齢人口(15~64歳人口)の減少と老人人口(65歳以上人口)の増加が同時に進行することから、世代間の助け合いを基本とする社会保障制度の再構築が求められています。高齢化・人口減少の経済成長へのマイナスの影響も懸念されています。また、高齢化を地域別にみると、今後は都市部での高齢化が急速に進展します。

講義では、高齢者の生活実態および高齢化・人口減少の経済社会に及ぼす影響を考察し、都市部の高齢化(都市型高齢社会)を念頭に置きつつ、高齢者はもちろん、すべての世代の人々にとって暮らしやすい社会像を考えていきます。

「都市経済学を修め、第一期生羽ばたく」

去る3月20日(木)、本学初の学位授与式がキャンパスでおこなわれ、計171名の卒業生が本学を巣立っていった。当日は、多くの来賓とともに福田昭夫栃木県知事や栗川仁黒磯市長の御臨席・祝辞などもいただき、学位記授与、学長式辞、卒業生謝辞を中心とする式典は滞りなく進行した。充実した学生生活を熱く伝え聞く者に感銘を覚えさせた学生の謝辞などにより、厳かで締まつた雰囲気の式典となった。日本で初めて都市経済学を修めた経済学士諸君の今後の活躍を応援したい。



授与式



学位授与式に続いて、午後12時15分から卒業記念祝賀会が学生ホールでおこなわれた。表彰、飲物と料理を囲んだ懇談など和やかな会となつた。表彰は、優秀論文執筆者や4年間の自主的な活動を通じて後輩たちに足跡を残して貢献した以下の卒業生に対しおこなわれた。



卒業記念祝賀会

祝賀会では、同窓生や恩師など思い思いに歓談する光景が見られた。講義・ゼミ担当教員、あるいは事務の窓口担当者は卒業生がちょっぴり大人になったのを感じたようだ…。

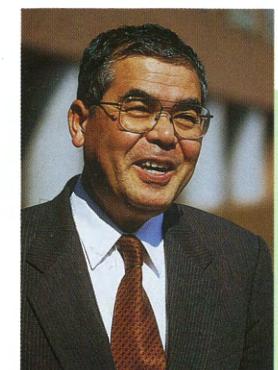


「同窓会結成に寄せて」

那須大学同窓会 初代会長
(黒磯市商工会会長) 渡辺 克久氏

お陰さまで、那須大学第一期生として無事卒業することができました。就職、大学院等への進学とそれぞれが進む道は違いますが、今後私達は那須大学卒業生として自信と誇りを持ち、今日の厳しい環境を強く生き抜く所存です。とりわけ、「一人が一校(那須大学)を代表する」という生活目標を常に行動の指針としたいと思います。一期生として同窓会を結成するのは責務と考え、最初の会長をお引き受けすることとしました。微力ではありますが、那須大学の今後の発展と同窓生の皆さんの交流、情報交換などをめざして活動していきたいと思います。よろしくお願ひいたします。

平成14年度 記念祝賀会



「進路の状況を聞く」

就職委員会委員長 里居 和義教授

今年3月、那須大学初めての卒業生を送り出しました。1年生から参加できる就職支援(資格取得)講座、2年生からの各種ガイダンス、3年生からの数度にわたる個人面接と、就職支援のための三本柱のプログラムの甲斐があつてか(といっても、学生諸君ご自身の努力があつてのことですが)、大学院進学と自営の人を除くとほとんどの人が就職を決め、現在それぞれの職場でフレッシュな仕事振りを見せてくれています。



N 那須大学
就職委員会からのおしらせ

周到かつ熱心な活動が功を奏す!
一期生の内定先、進学先一覧

就職内定率98%

主な就職内定先(平成15年3月31日現在)

| 業種 | 内定人数 | 主な内定先 |
|-----------------------|-------|---|
| 公務員 (2.6%) | 国家公務員 | 2 黒磯市役所、埼玉県警、自衛官 |
| | 地方公務員 | 2 |
| | 計 | 4 |
| 建設・不動産・住宅産業 (7.9%) | 12 | 東洋建設、東北ミサワホーム、ミサワホーム福島、パナホーム北関東、三井ビーサー、シーアイシー、相互都市開発、リスト、エステート住宅産業、三和住宅 |
| 製造業 (9.9%) | 出版・印刷 | 4 下野印刷、井上総合印刷、日之出水道機器、広沢製作所、アーレスティ、ヨシ電子、カネシヨク、関東大徳、東和商工、トラスト精密 |
| | 一般機器 | 8 |
| | 金属製品 | 1 |
| | 食品 | 2 |
| 運輸・通信業 (2.0%) | 計 | 15 |
| 卸売・小売業 (50.0%) | 運輸 | 3 西濃シェンカー、狹山物流、JAライン神奈川 |
| | 総合商社 | 1 伊藤忠商事、伊ーヨー堂、板木リコー、藤井産業、専門商社 |
| | 百貨店 | 7 岩井科学薬品、上野、小泉東関東、福田屋百貨店、ヨーロピーマル、ヤオコー、とりせん、ココスピバパン、すかいらーく、エコス、サイゼリヤ、幸楽苑、フレセイ、ペイシア、オータニ、ブタコ、ボーリジョン、サトーカメラ、大成社、コジマ、カインズ、ピュア、板木ダイヤ販売 |
| | 小売業 | 4 |
| | スーパー | 22 |
| | 飲食店 | 8 |
| | 自動車販売 | 15 |
| | 計 | 19 |
| | 証券 | 76 ネットコトヤ板木、ジャックホールディングス、板木スバル自動車販売、トヨタカローラ板木、板木三菱自動車販売、トヨタピクタ板木、板木トヨタ自動車 |
| | 保険 | 2 |
| サービス (21.7%) | その他 | 1 イオンクリエベントサービス、ベストコモディティ、ジブルタ生命保険、日本交易、東光商事 |
| | 計 | 6 |
| | 教育 | 2 アカデミー、開倫塾、ビジュアル、トヨタレンタリース板木、ハーマン、ホテルニューフジ原、ホテル東日本、那須ビューホテル、金谷ホテル |
| | 広告 | 2 観光、国際警備、北関東綜合警備保障、安佐農業協同組合、ティビシィスキット、那須南病院、渡辺整形外科皮膚科医院 |
| | 情報処理 | 1 |
| | リース | 3 |
| | ホテル | 5 |
| | レジャー | 7 |
| | その他 | 13 |
| | 計 | 33 |
| 合計 | | 152 |

大学院進学先

| 大学院名 | 専攻 | 進学人数 |
|---------------|--------------------------------|------|
| 宇都宮大学 大学院 | 国際経済学研究科修士課程 (国際社会研究専攻) | 3 |
| 宇都宮大学 大学院 | 農学研究科修士課程 (農業経済学専攻・食糧統計経済学) | 1 |
| 筑波大学 大学院 | 環境科学研究科 (環境科学専攻・環境政策学) | 1 |
| 東京農工大学 大学院 | 農学研究科 (共生持続社会学専攻・環境社会関係学) | 1 |
| 東京農工大学 大学院 | 農学研究科 (共生持続社会学専攻・食糧環境経済学) | 1 |
| 慶應義塾大学 大学院 | 経済学研究科修士課程 (経済学専攻) | 1 |
| 中央大学 大学院 | 経済学研究科修士課程 (国際経済専攻) | 1 |
| 神奈川大学 大学院 | 経済学研究科博士課程前期 (経済学専攻) | 1 |
| 自白大学 大学院 | 国際交流研究科修士課程 (国際交流専攻) | 1 |
| 東京国際大学 大学院 | 経済学研究科博士課程前期 (経済学専攻) | 1 |
| 合計 | | 12 |

学生の特技めぐり④



ライフル射撃

3年生 廣瀬 武雄君

高校時代にライフル射撃で茨城県代表として国体出場の経験がある。特殊な競技であり、極度の集中力が必要とのことである。特に、夏の暑さの中での練習は地獄のようでしたと振り返る。一時中断しているが、いずれ再開したいとのことである。この他、3級造園技能士、茨城県施行管理技術者の資格を持ち、垣根作りなどもできるそうである。現在本学の総合運動サークルの代表を務めており、多才ぶりを感じさせる将来が楽しみな学生である。「頑健な身体を活かして人のために役立ちたい」というのが彼のモットーである。

(インタビューに基き広報委員会が作成)

頑健な身体で貴重な体験

なんでだろー!大学と社長業が両立する理由!?

「学生税理士」

社会人学生 3年生 斎藤 栄治氏

那須大学に入学して早2年。自宅は福島県須賀川市近郊ですから、片道1時間位通学に時間がかかりますが、高速道路を使うので意外に短時間なんですよ。仕事の合間に週3日のペースで通学。結構出席率もよく、総合英語は出席率100%。担当の佐藤友訪助教授からもビックリされました。私は、社員12名の税理士事務所の経営者でもあります。経営者の最大のメリットは、やはり、時間の融通がきくことでしょうか。

入学のきっかけとなったのは、私の同業者でかつ尊敬してやまない方の一言です。彼は、例年高額納税者に名前を連ねているほどの方です。その方が、現在彼がやっている税理士事務所の業務の中で、不動産鑑定業務が最も安定的な収入になっていることを教えてくださいました。早速、不動産鑑定士試験に挑戦しようと決意。大卒の場合は一次試験免除ということがわかり、那須大学に入学した次第です。入学してみたらビックリ、私が尊敬してやまない方でもありかつそのアドバイスをくれた当の本人も、私と同じ年に那須大学に入学しているではありませんか。那須大学には、私が目指す不動産鑑定士の試験委員をしている教授もいらっしゃいます。56歳にしてついに幸運にめぐり合うことができたような気がします。

